



祇園物語 下



特別
~13
1214
2



へ渡18
孫 1214

あつた

あつた

あつた

延享五年

八月下旬

師範校
下之印

紙園物語下

紙園物語下

入目下来とも物候りせとれ作とくかう出敷よ

おののらかりりるけい使は信水物候下向也

えれあうハ公ありと使あり末也とれそ下向れ

かたりをうと。あらしきぬア

たむらうめんごはのへら進ちうハ和典のくもんを

志好おりくハ人とも三綱五常のおとりにはをれを。

三綱といハ君臣と父子と夫婦ともうけ三は律

小仁義礼知信の五つれはひと。おこるえとりうる

かり。えハ世ふあうらりのしや也五常といぬると

かうりてまうす下。まの君臣といハをれはとの

紙園

永陽齋
圖書印

みくらたあくする事ありけむおつりていそまを
ひきんとあき千万人のま君とあつる人とあつれば
八友もたひひしうひまされてひらうゆ。君とらうは
下とらひらふおつ事。おとまをさうぬるるむ
あれお君臣のたちりてといひおふえさの又親と
子に二世れらさう。お米おわといふぬれたあや。
お水のさあれと子と卵。ああ葉よとけり落れに
うらえんおあておわといひ。中といふ子に三ついふ
くひせさう。おわといひらとけりてとま。お世れとら
ふあさめ。又ま婦の中をいぬらひのさあき。
うらみのうらまんと。ま婦のあつふらうて。いそお

ネ

これおひのいぬとさう事なり。け三つらの中よ。
あ川のうらうけつとあさうとも。おあまうらうけ
りいひのさあおらうらそこのさあれ。さえてのな
いせんとさうれたはえ。あれたと。縁かひ
をさうとすいぬらう
あゆらあふとらう。海とらうらうとも。三箇五
帯のうら屋あきさう。お母ふらうと事ありうた
ますうゆさうつ。ぬされあつらふとらぬ屋。三
つお帯さう。あさまわいぬらう。お母はらうと
わさうはくともあきおあつ事とらう。さうとら
縁とらうと事とた。ゆらうとらう。さうとらうとら

紙

紙

一人といふより必ずしも一人は
 先君^{くん}后^{ごん}のみらりては、^と位^ゐを一日とた^とる
 一君后とハ上下の^と位^ゐとさ^とく^とむ^とる^となり。
 上下の位をくばりて、あ^との^との^との^と
 つま^との^との^との^との^との^との^と
 衆^とは^とは^とは^とは^とは^とは^と
 衆^とは^とは^とは^とは^とは^とは^と
 衆^とは^とは^とは^とは^とは^とは^と
 衆^とは^とは^とは^とは^とは^とは^と
 衆^とは^とは^とは^とは^とは^とは^と
 衆^とは^とは^とは^とは^とは^とは^と

さ^とと^とと^とと^とと^とと^とと^とと^とと^と
 平^とら^とり^と又^とあ^との^との^との^との^と
 と^とあ^とり^とと^とを^とあ^とり^とと^との^との^と
 ふ^とあ^とり^とと^との^との^との^との^との^と
 一^とら^とふ^とは^とは^とは^とは^とは^と
 一^とら^とふ^とは^とは^とは^とは^とは^と
 一^とら^とふ^とは^とは^とは^とは^とは^と
 一^とら^とふ^とは^とは^とは^とは^とは^と
 一^とら^とふ^とは^とは^とは^とは^とは^と
 一^とら^とふ^とは^とは^とは^とは^とは^と

善と云ふはしつうり世典の三墳五典まゝ孔老の乃
母不敬思を邪神中とて三綱五常まゝとて
外典の勅善徴悪は法よりおしりては仁義を
おとす人をも悪逆とすす若くは死しては同一天
理とゆふとすなり。今生の善ふらぬおしりての
とひつねをし仁義たえず若くは七つめおと
とす人もあつらん。法ははと生乃善悪おしりて
来まふ善悪の報とすうととくおしりてすこ
し乃善とておしり。善ふすしむしりて甲初善
徴悪とすせとて後深あつすなり。まらふおしり利
益とすうとく人のおしりははと様ふさうして。

とてとくをさうり。たて六醫師の病よりして業と
りりい孔子のこの善と問より人よりうら乃善と
まらうとて。初小人天教とす人より五戒とす一
八十善と教たまはれ人天根性よりしてさうり
はらうり。五戒とハ殺盗淫婬妄飲酒はらうり。即五常と
同不殺ハ仁の戒不盗ハ義とす。不邪婬ハ礼とす。不
妄語ハ信とす。不飲酒ハ智とす。不飲酒ハ智とす。不
智と礼とす。五戒と五常と名ハ別めては同一。
佛の八徳世語言皆正法とて。若くは徳世法即佛世
説より十善ハ殺盗淫婬三口ハ妄語誹倍惡口支統の四とて
よハ貪嗔癡の三は十惡と辨はと。十善とすなり。

此乃五戒十善と持てハ佛天を守護とす給あり。

佛天と云へ善とみくハ万應と云ふも守護と云へ

仙ハいつて善と云へのみハ其毫末ハ乃の善と持

持てハ其善と云へ一切衆生ハ人天の小業ハ亦

結燒リ丸と持て養音といひてハ此乃海小

船と云へ此の善果とお報せんとの云へんハ此を

即ち人天の五戒十善と持て佛果菩提とい

ら云へんとお世の三業一乗教あり。四王大臣等も死

時ハ妻子も珍室も位も益もす。宜くと云へ

於時ハ必ず其の善根ハ伴と云へんハ此乃

の善なるの云へんお報の云へんハ此乃

此の林ハあつてもうて其の善ハ此ハ此ハ

同船の人の岸ハあつてもうて其の善ハ

或ハ三善ある。あつてハ天との果報ハ

父母妻子ハすべし。親ハ死時ハ何れ

りあつてもあつても其の善の中ハ此

何れと云へん。此の善ハ此の善ハ此の

報者ハ目あり。かく此ハ此ハ此ハ此ハ

此の善ハ此の善ハ此の善ハ此の善ハ

此の善ハ此の善ハ此の善ハ此の善ハ

此の善ハ此の善ハ此の善ハ此の善ハ

る経統ありあらず。至極と号して執公ありぬ。此
とす。ゆゑあり。経の中より五倫とされぬ。事とあり
り。人倫のついで。父の中み。國王の別法よりひく。事
一戒うして統あり。或は獲國仁を經るとして。經も有り。
こゝに君臣の倫あり。或はわき孝行あり。人倫とあり。事
も。又父母を重む。經あり。父母の干渉との。摩那報也
經とす。とあり。扶養の。降儀の金指とあり。自連
を。托の。空若苦救。一。聖園。與母と救。一。あり。おこ
り。こゝに父子の倫あり。又不邪。嬖。交。婦。乃。及。心
去。く。す。り。戒。は。あり。開。睡。乃。礼。よ。同。一。位。乃。中。よ。ハ
曲。事。と。報。を。見。ら。る。わ。り。一。回。王。乃。是。二。父。母。の。事。三。生

の。愚。四。三。室。思。う。り。四。王。六。貴。爵。た。り。此。と。て。万。民
世。と。お。た。や。ふ。わ。ら。う。の。事。然。る。父。母。は。ら。そ。れ。也。有り。
生。ハ。子。ふ。た。た。け。ず。あ。ら。て。あ。ひ。り。に。世。と。ま。さ。ふ
事。あり。三。室。の。愚。ハ。若。海。と。な。れ。也。常。位。の。妙。王。に。い。ら。
仏。と。ら。か。ん。大。恩。あり。又。子。と。ハ。自。お。ふ。る。こ。あり。或
ハ。室。と。も。又。善。知。識。と。も。統。け。り。あり。或。ハ。子。は。う。た。れ。三
界。の。く。び。く。せ。と。統。又。も。あり。む。じ。と。子。を。捨。つ。に。あ。り。す。
又。朋。友。ハ。仏。は。小。肝。要。と。す。り。あり。主。の。前。ま。と。親。の
前。ん。ハ。お。さ。め。あ。る。事。と。す。り。す。ま。ま。と。う。り。と。只
友。よ。り。り。て。人。ハ。ら。さ。あ。さ。あ。り。あ。り。き。友。と。ん
虎。狼。う。り。も。お。さ。れ。よ。も。親。近。善。友。と。う。り。也

氏六

より三五の乃より儼あやうと愛あひたまひあふ
 前生の心小およみ及ふ是の信まこととわんごれり
 有りて立た常じょう礼樂らいらくと信まことのまこととて人天
 愛あひと信まことの中より我三聖わがさんせいと信まこととて彼
 震且しんじゆと化けすといひ孔子こうしの三聖さんせいの
 ろうにいて礼樂らいらくの乃をうへん心と信まことふす
 是と初はつ門もんとて信まこととひりうんのためあり礼樂らいらく
 前まへ小こ強つよて其その乃なりは啓ひらくとてこれありは三又乃
 乃ハ世の倫りんと愛あひふれよ信まこと乃なりの天人てんじんな
 是とて世の本ほんとていふあり右信まこと乃なり大別
 とありはけハ何乃不ふ富ふとありて門もんの後あと義ぎに五

倫の乃を厚あつとていふての不ふ富ふともハ一經いつけいを
 得とりあやだり五倫ごりんといひぬとて子細こさいありん
 夫の初はつ門もんとて信まこととて其乃そのなりの夫初そのはつもんとて厚あつ
 らんどのてとてありん其乃そのなりの夫初そのはつもんとて厚あつ
 了りょう又倫りんのみとていふありて其乃そのなりの夫初そのはつもんとて厚あつ
 要ようとて礼らい乃なりたる也なり孟子まうじ夫婦ふうふうハ五倫ごりん中ちゆう乃なりて
 此倫こしりんを厚あつとていふありて其乃そのなりの夫初そのはつもんとて厚あつ
 夫ハ不ふ孝かうのゆへ不ふ告ことて要ようとて其乃そのなりの夫初そのはつもんとて厚あつ
 わり又夫婦ふうふうの倫りんハ夫ハ不ふ孝かうとて其乃そのなりの夫初そのはつもんとて厚あつ
 舜しゆんハ人じんの要ようとて其乃そのなりの夫初そのはつもんとて厚あつ
 愚人ぐじんとて其乃そのなりの後あと紀ぎハ不ふ孝かうとて其乃そのなりの夫初そのはつもんとて厚あつ

周の代乃人あり。是れ也。とす。すかめ。道はけり也。と云ふ。
 たり。と云ふ。一も。後。と云ふ。後。たす。は。わ。じ。た。り。
 一。文王の三。ふ。れ。天下。と。一。ふ。ら。る。る。討。ま。に。ま。さ。る。ひ。
 又。伊。尹。大。甲。と。桐。と。あ。ら。徳。を。た。し。ほ。よ。毫。ち。
 一。一。君。と。作。し。廟。に。あ。る。か。孔子。も。あ。る。ひ。善。く。
 一。と。し。り。ま。い。ん。の。と。一。れ。君。臣。の。名。よ。う。ぬ。ふ。あ。る。也。
 一。や。又。叔。奔。ハ。父。の。遺。言。よ。背。き。り。一。姓。ハ。伯。夷。一。後。ハ。
 一。及。理。ま。れ。と。固。と。捨。る。ま。く。ハ。い。ん。ほ。お。ハ。首。湯。と。一。一。
 一。死。し。せ。り。又。婦。の。備。も。た。り。父。子。此。信。も。あ。ま。に。似。り。
 一。又。許。由。も。一。五。傷。あ。る。も。と。さ。う。す。が。の。と。一。一。堯。舜。
 一。以下。も。五。傷。あ。る。れ。ら。う。事。典。籍。小。さ。あ。る。也。門。乃

後。義。し。佛。法。を。以。て。世。法。と。さ。る。ひ。捨。と。以。て。券。と。さ。
 捨。て。悦。の。乃。高。善。ひ。と。教。世。人。の。執。着。あ。る。を。あ。は。れ。る。
 と。ま。く。せ。ん。女。め。よ。五。傷。も。と。し。一。傷。の。の。の。と。り。也。
 一。荆。岫。の。玉。も。す。こ。の。瑕。あ。る。驩。龍。の。珠。も。類。多。り。
 一。あ。す。宝。山。は。一。乃。瓦。礫。あ。り。檀。林。ハ。一。乃。瓦。木。あ。る。し。
 一。す。こ。の。瑕。を。以。て。珠。を。と。す。ん。と。堯。舜。も。沙。門。也。と。
 一。乃。瑕。を。し。せ。り。捨。る。ま。く。れ。人。乃。一。中。内。乃。外。と。り。
 一。たり。後。生。れ。た。け。と。ま。す。一。方。も。あ。ま。と。う。か。ふ。あ。る。
 一。言。を。以。て。君。を。辱。あ。る。ま。く。れ。と。古。人。を。し。さ。れ。一。あ。り。
 一。さ。し。あ。の。此。不。實。ハ。一。小。さ。す。と。も。あ。の。つ。つ。と。ま。ぬ。
 一。原。一。り。あ。る。す。こ。の。か。ら。り。一。也。

世にさきひくるとして、ゆりあふ多きとゆりまきなり。悪人の世に殺盗の逆罪あり。我ら悪人のたよ三悪をよみて、或は大地獄の鉄の籠に入れて、手色はつらきと誦責よあふれ。ゆりまきと見ても、人乃乃龍虎のこゝと又善人の三又のたよとて、お報のたよゆりするたよ。或は天上に縁の報をうけ、或は十方に降よとす。まじりて、まに生て人乃の患累たよ。さ不降のたよ。ゆりまきとゆりまきとて、又五戒をゆりまきとて、人の家へ生たまきとて、生と死のたよ。ゆりまきとて、たよのたよ。ゆりまきとて、経力佛力又なす。

して、前の世を知り、名系あふ老と。和後いふおゆ。龍とて、大海とて、ゆりまき。

一君はるく、一日とたたりかた。と。上古の君は、父子乃礼儀もたし、うらやみあふ。三白をいあたるをうす。大々佛経もゆり。劫初のたよ皆化生。かふらん明あり。虚言を流行し。父母男女兄弟夫婦。うらたよ。とて、あふれ。只朋友乃とて、うらたよ。時時、系あふ。日本にて、天神七代のたよ。男乃ちきり。とて、又田をゆり、島をおこ。たよ。地乳も、林藤も、谷合も、火をい合を。網ゆるも、たよ。時とて、餓死する者も。

くつりしに人のをう。むう。私欲シヨク三所ミカズ。此コノ行ユクとある。能ノ克ク的テクも。也ヤ。死シ行ユクも。う。牛ウシ。地チ乳ニウも。も。ま。う。て。後ノチ。自然シズカニの。糧シヤク米コメと。を。げ。う。う。て。米コメあり。と。念ネン物モノと。も。と。れ。り。始ハジメて。男オトコ女メドメの。根ネの。り。て。ま。又マタ婦メドメ此コノ倫リンも。お。り。り。私シ欲ヨクの。も。く。う。う。を。以モて。地チと。あ。く。も。地チを。う。う。を。あり。て。我ガの。の。も。地チと。あ。く。も。ひ。ま。ま。時トキの。人ヒトの。後ノチ念ネンを。う。り。批判ヒツパンの。人ヒトと。う。り。ま。て。方カタも。此コノ批判ヒツパンあり。あ。ふ。又マタ我ガう。も。さ。る。處トコロに。と。指サシひ。て。批判ヒツパンの。人ヒトあり。の。り。又マタおん。と。も。心ココロを。以モて。う。り。人ヒトの。威イ勢セキあり。も。後ノチは。ま。人ヒトと。ぬ。一ヒト。是コノを。田タと。王オウと。う。り。天テン竺シク王オウの。も。く。め。あり。た。こ。の。所トコロ代トコロま。の。の。く。ま。れ。と。威イ勢セキあり。て。王オウと。う。り。が。く。君キミは。

史シ婦フ有アル也ヤ。又マタ循ジュン曲キョクと。う。り。方カタ儀ギも。お。り。三ミ又マタ此コノ也ヤ。形カタて。叶カナて。あ。る。處トコロに。い。ま。り。辟ヘキ吉キチ利リ支シ丹タンも。り。時トキに。は。此コノ也ヤ。方カタ儀ギも。お。り。は。友トモと。ま。り。ま。り。と。く。と。終ハジマる。と。堯ヤウ王オウ此コノ時トキ迄マデハ。堯ヤウ階ケイ三ミ尺シツも。り。と。考カウふ。う。り。と。茅カウ茨シも。り。と。米コメ穢タイも。り。と。君キミ長ナガ也ヤ。う。り。の。も。り。に。ま。り。并ナヒと。わ。り。て。あ。と。飲イン田タを。作ツクり。て。飲インと。う。り。常ジョウ使シも。り。人ヒトと。も。り。腹ハラは。り。と。打ウて。飲インも。り。と。堯ヤウ王オウの。政セイ理リと。り。も。り。お。り。り。と。れ。も。り。後ノチは。人ヒト乃ナラバも。り。と。う。り。た。ら。五ゴ倫リンの。も。り。と。う。り。と。う。り。と。う。り。と。う。り。佛ブツハ。人ヒト乃ナラバ百ヒャク歲サイ乃ナラバ時トキ周シュウの。代トコロ也ヤ。小コ沙シャ也ヤ。世セ也ヤ。ハ。時トキ也ヤ。相サウ慈ジ也ヤ。と。う。り。と。う。り。三ミ又マタ此コノ也ヤ。乃ナラバ道ダウ三ミ案アン一イツ案アンの。後ノチあり。と。う。り。佛ブツも。五ゴ倫リンあり。時トキも。り。と。う。り。と。う。り。と。う。り。と。う。り。終ハジマる。と。三ミ毒ドク私シ欲ヨク

これなり。君は夫婦より大なる事あり。若し能く此
乃城子故せしとて。剛毅にして。大なる事あり。若し能く
合致あるべし。佛の事。一むを三毒とて。それら君は
之とて。此の事あり。大なる事あり。孔子の事。一むを
あつ。今。西。公。孫。の。事。一むを。後。安。樂。の。事。と
て。今。西。公。孫。の。事。一むを。後。安。樂。の。事。と
し。留。公。孫。の。事。一むを。後。安。樂。の。事。と
不仁不義とて。此の事あり。若し能く此の事あり。若し能く
孔子の事。一むを。後。安。樂。の。事。と
佛の事。一むを。後。安。樂。の。事。と
先王の事。一むを。後。安。樂。の。事。と

と。世の孝養を。一むを。後。安。樂。の。事。と
教。人。と。て。家。と。制。行。と。業。を。一むを。後。安。樂。の。事。と
物。と。て。ぬ。と。り。お。わ。す。る。の。上。仏。の。事。一むを。後。安。樂。の。事。と
る。の。儀。人。と。て。五。戒。と。す。し。一むを。後。安。樂。の。事。と
と。持。ゆ。又。業。掃。衣。と。す。て。天。竺。の。事。一むを。後。安。樂。の。事。と
已。ゆ。た。し。同。く。す。ん。は。是。と。ひ。ろ。ひ。て。製。法。の。事。一むを。後。安。樂。の。事。と
善。と。業。掃。衣。と。す。し。一むを。後。安。樂。の。事。と
と。持。ゆ。又。業。掃。衣。と。す。し。一むを。後。安。樂。の。事。と
を。安。樂。の。事。と。す。し。一むを。後。安。樂。の。事。と
佛。の。事。一むを。後。安。樂。の。事。と
さ。ら。ぬ。也。用。す。一むを。後。安。樂。の。事。と

竹の町へ人々皮とさる。木葉をけりて膚とさる。肉とさる。木の實と食とてし余あり。此の時とほらぬとてあはく。老をり。と和漢ハ田畠とけり。葉と捨て衣食を困ゆ。或ハ毛獸の皮とさる。國ありげり。ありあり。ありの國とさる。ありありハ小國あり。我ハ他たさる。とあり。ありあり。中國あり。四方ハあひとあり。い。唐と中し。儒道の老あり。仙道とすなり。菅菘菜ハ河洛より流言。北辰の星ハ天乃中あり。人乃北よりあり。とす。中國あり。千とさる。日本よりハ大國と見え。とす。只の時あり。知よとさ。田畠とけり。とす。食

物もあらん。或ハ木よりい。そのか。心と用ゆ。心とあり。おのま。う。力と。心と。お。う。ゆ。ん。夜。食。も。あ。らん。傳。授。此。經。と。傳。し。あ。り。は。備。ハ。葉。の。法。服。と。供。報。し。法。師。乃。經。と。傳。し。は。瓢。ハ。白。米。と。り。一。日。此。善。と。さ。り。と。終。身。の。一。心。多。く。は。ま。れ。う。屋。乃。た。め。和。漢。お。わ。し。仏。乃。と。い。ふ。り。て。教。化。す。る。其。の。め。だ。ハ。不。意。あり。孔子。の。と。い。ふ。り。み。ふ。仁。者。と。さ。る。ハ。傳。授。を。つ。ぬ。さ。る。れ。孔子。乃。不。意。あり。ん。妻。婦。さ。る。も。化。生。れ。人。わ。ん。と。乃。上。仙。道。又。佛。と。さ。る。今。經。又。と。上。ふ。す。と。か。り。と。さ。り。何。乃。と。さ。る。い。ま。の。と。さ。る。ま。し。わ。く。さ。れ。の。物。と。り。と。さ。る。と。さ。る。と。わ。く。は。れ。と。わ。か。せ。と。さ。る。と。さ。る。の。ま。の。心。を。興。と。り。さ。る。の。人。ま。

故よ水の時をこれ。水すみりら水よりしと也。千劫万劫
 い流まても水そわつる。右すみりらあともよとを報り也
 うめん。修の良れえをいす。うひの水と清とす。
 とけとハハの丸まとおろす。共すうひの亦おま
 とをうむじぬめおす。みりら水とハハありと。おぬハ
 貴家のうちあり。侍曰くもみりら佛の道い。修りては
 たり。仏すみりら地獄とくも。仏も地獄におつる。
 わんく。それあう。幸芳と。賊宝と。修りて。後生を
 ても給あり。傍曰くもみりら地獄の性。あまとも。修
 まうひのあう。たう。うんそ地獄よあり。修りて。修りてハ
 本理と。あう。として。五及六及小帰。甲。仏ハ本理と

達し。あまをいす。再いぬ。いおうす。ただハ繩とあや
 まりて。地と。存ひ。う。う。お。それ。あ。大。小。と。傷。ハ。長
 繩と。あ。う。あ。う。り。わ。ま。り。と。す。え。繩。と。及。ハ。後。ハ
 大。小。長。繩。の。あ。う。あ。い。あ。一。丸。ま。の。地。と。及。う。わ。ま。を。れ
 一。ハ。本。理。と。う。さ。を。な。て。要。執。あり。は。繩。と。及。う。
 一。ハ。本。性。と。う。う。あ。い。て。地。と。い。ぬ。ハ。ハ。繩。と
 及。て。ハ。う。さ。い。て。地。と。ハ。本。理。と。す。ハ。本。性。ハ。仁。と。さ。す。も
 お。い。ら。あ。ぬ。時。ハ。時。わ。り。う。不。過。ふ。う。さ。を。お。こ。す。も
 又。わ。く。ま。り。仁。よ。た。う。ひ。あ。り。孔子ハ。仁。よ。達。う。る。今。れ。ハ
 造。次。め。頌。師。よ。も。仁。よ。た。う。あ。る。あ。い。佛。も。あ。り。本。達
 一。ハ。い。て。ま。ら。ひ。う。人の。業。は。よ。ま。さ。さ。修。り。時。ハ。あ。る。

みろくも字も何事と又ありありなり。筆法はまをされは
いふに書ても見るあり。西施さいし頻ひんすう時とき百乃ひやくのふ
みたり。いれくことあり。下地げちの義人ぎじんのゆゑにたたり。
仙せんも中姓ちゆうせいの理り不達ふたつ。一いち等とう上の位ゐるは奉ほう是下しげ是し
佛ぶつはよありすし。一いち等とう磨まけつ玉たま乃のありのあり玉
とありるありし。

刃やいばとねさけはるるあり。今時いまときの末まつはとあり。末まつはを
解とくして今時いまときの仙せん乃の末まつのそ孫まごて教しよのそく旅行りょぎんし。
又また快くわいと云いくくるあり。一いち等とう新しん言げんと云いて。あつらひ信しん
あり。上かみは病びやう守しゆ仰やうあり。げ信しんハ笑わら難がたのそ是こゝと人ひと奇き
たし。ありあり。と云いはく。後ご浦うらの終しゆう行ぎやうあり。まは

のそ是こゝは若わかありあり。又また快くわいと云いく人ひとハカにそまうまありし。
あらん孔子こうしハ天てんとて我われよるあり。桓くわん雅やと云いふと
も又また天てんとて斯こゝ又またとあり。かま。匡きやう人じんをそまうまといふ
とそ難がたと云いふ。はよいと云いふ。と云いふ。一いち等とう強きやう言げんと云いふ。陽やう貨かはあつてハ天てんも信しんと云いふ
す。て。あつと云いふ。信しんひ信しんれけ。ふ。は。合あわ。く。た。え。あ。ふ
より。時ときが。を。は。き。は。ん。と。云いふ。孔子こうしあり。ま
を。末まつは。信しん者しやよ。ま。屋やに。れ。た。り。一いち等とう索さく人じんあり。ま。あ。つ
み。信しんく。信しん人じんの。う。ま。つ。ま。と。云いふ。天てんとて孔子こうしあり。
し。ん。あ。つ。ま。は。信しん者しやと云いふ。ん。と。云いふ。と。云いふ。一いち等とう難がた
ま。あ。つ。ま。は。一いち等とう強きやう言げんも。あ。げ。る。と。云いふ。陽やう貨かあり。あ。つ。は。

この新文しりずおきりまうらむ時乃傍らみどりえ
行徳あし刀にそまうまぬれぬの比とよあつず松乃
正像まろ三時の傍と行まうらむる上巻の
ろくせんふさうりしとくかたたまあへ

か人あて目とげおぞだくくわさぞといつるあわ
しやあれまうらむら老人さつそ屋うくか人乃れ
えのひをすしうが物さうりしとくつゆのるま
あさだくまうらゆ人よぼれてさくくともがだといふ
おはるまやもれをささかゆと奥のおまこむ
と。草木の花の色と深いさすも何者うあつえ松
ふまエといふすともあぬまふしとまうらだか

うまひあれぬのさうあれぬるまうらといふ
とわさきとがし神のさし松なるしだくあつる
海よのるあわすさくあれくみまさくともあへ
傍目大神及經とすふ一切の徳はま神及まうらと
あり老人のすきりと同するまふさうらに
まれの何物とのさすさく神及まをま
まといとすぬれおたり又あやしとを怪しぬれ
あやしとたりむじれ官人の章兼が牛とまま
乃よふのかりのまさくさくしとを怪しおひ
実基のたはれまあまびくへうのわさくんとす
まうらとさくまうらし又開きたあつ侍がま

火とこれいふ火のまん中ふちのまぶらあけつて人
 らしてさういふとあつたやうに火とあつたやうに
 海はつらさぬはまうけつとさういふ人へおつて
 てはあつたやうにわんとさういふ言下に清くせけつとせ
 るはつたやうに火とあつたやうに火とあつたやうに
 りりたるとさういふ性理字義あつたやうに
 取文せん生とさういふ一切の妖あつたやうに
 しまつたやうに石のまふ洗し人かあつたやうに
 てさういふ耳あつたやうに錦葉紅花とあつた
 さいさいとあつたやうにさういふとさういふ
 一切の神及さういふとさういふとさういふとさういふ

惟もあれよあつたやうにさういふとさういふとさういふ
 くのまふとあつたやうにさういふとさういふとさういふ
 とく神及さういふとさういふとさういふとさういふ
 まてあつたやうにさういふとさういふとさういふとさういふ
 波はあつたやうにさういふとさういふとさういふとさういふ
 うまふとさういふとさういふとさういふとさういふ
 乃まふとさういふとさういふとさういふとさういふ
 せいおまふとさういふとさういふとさういふとさういふ
 聖原はあつたやうにさういふとさういふとさういふとさういふ
 どりきけつたやうにさういふとさういふとさういふとさういふ
 美おのまふとさういふとさういふとさういふとさういふ

りしをききくにあらずは徳命書なり。枯女あり
 枝葉をまきふにまきくあり。枯たると生せぬる人の
 鬼準り枯竹は枝葉をまきくあり。まおられぬあり。ま
 て乃はま目かにまきくあり。まきくしてまきくあり。ま
 ありまきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。ま
 人のまきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。ま
 こ乃まおれまきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。ま
 縁してまきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。ま
 まおれのまきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。ま

心と海らうしてまきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。ま
 わす周の文王乃國をまきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。ま
 初まきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。ま
 妖怪とまきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。ま
 乃まおれまきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。ま
 とまきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。ま
 うまきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。ま
 伊陟う妖はまきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。ま
 ありまきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。ま
 ありまきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。ま
 ありまきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。まきくあり。ま

ありしは、怪よりぬるうを武下文王何とて
乃実基をみおくりたるん其あやとを怪と
也すしてあるるまきはずしはあやとを怪と
怪とあやとをみわけぬしあやとを怪と武下文王
たしてあやとをみわけぬし又祥瑞あつるも
か典あせたり。又祥瑞とをみわけたり。
一た石もまかりしにゆきぬと右をみてみりた
といふ道ゆ人と大悪人とをみわけぬし人
たらみりするあやと。た言曰大善人と大悪人
生れつるあやとあり。三つてみる時悪人の
はさびさきみりてみゆり物あり。なるも
見ゆるといふにみりたあやとをみわけ
るに、いふに、怪ゆり人十をいふておぼる
うびおぼえす。一は、怪ゆり人の徳全す
んせのありし人よは、あやとをみわけぬ
はらるるも、人のあやとをみわけぬし、
しりりとするも、あやとをみわけぬし、
討つては悪人のあやとをみわけぬし、
傍日同一生れしは、あやとをみわけぬし、
は、一會乃善悪よりあやとあり。揚子
西異若生也。所同若死也。尸ハ初れるも、
只生れあつる肉ハ、賢愚不同と云て、死す

時間自骨

となりとすむあり。佛は乃中めども。先れ一念よりて
 善惡大よりしては。最初乃一念と大を。とすりあり。
 たとへば大津よりりのちふおはけとす。をよあつぞこおく
 一是系の方。ぬ免が系へのり。舟波をふよゆい。一是伏見
 の方ふめバ。伏見又西國へ行まは。と。先の二是れをよ
 系と西國との千万里れ。をこしてあり。是をひて。しき
 いらあつて。あふいら。をれより。駈け行らあはせり。
 我ひくらんら。ふけし。も。乃一念を。大なり
 わつて。れあらし。たりの。一。由急の。賢あ。と。と。る。り
 る。る。一。是。は。も。し。れ。ぬ。は。い。して。り。乃。あ。ひ。こ。万。里。の。作。と
 ち。う。ま。い。き。と。け。り。ひ。の。一。念。れ。る。善。惡。を。れ。ら。を。愚。大。よ

もり也。大木れ。り。め。一。葉。れ。を。い。く。大。木。れ。を。い。く
 あり。あれ。よ。ま。う。君子ハ。ひ。ら。う。あり。何。ぞ。け。あ。ひ。と。ま。り
 孔子などハ。ば。志。の。重。人。お。し。後。ら。人。の。身。も。脚。と。た
 は。み。れ。と。因。ひ。業。と。習。して。ま。と。こ。乃。も。ひ。し。お。な。ら。ん。乃。
 人。が。こ。も。り。と。下。同。よ。ら。ら。り。然。に。慢。を。な。り。え。
 且。に。わ。り。さ。方。子。ゆ。え。に。れ。ぬ。ふ。ま。ら。り。り。け。り
 へ。あれ。と。ぼ。く。も。い。ち。あ。つ。利。根。の。若。ん。か。も。慢。は。る。山
 乃。と。く。智。多。あ。と。は。ゆ。す。と。し。せ。り。私。は。若。も。佛。若。
 と。時。ハ。慢。た。く。し。人。を。重。下。と。し。り。る。り。り。經。持
 ぶ。ハ。慢。あ。り。と。統。め。ひ。た。と。ひ。勢。あ。あ。り。と。く
 ま。う。て。弱。甚。乃。志。と。り。に。も。及。と。回。を。あ。り。ば。自。然。也

けり思乃あきと改めては。若乃よありしとて人。公
 人の室あにりるん。されが戴山さのい。と益所ん。とふ
 半とくせり。ちろよ。鬪牛。尾とありあけ書く。と
 牧童よ笑し。あり。孔子ハ。廟ふて。する。とふ。問はれ
 廟にせ。ば。うんぞう。紂王。おと。生活。に。利根。おして
 弁候ハ。懸河の流。乃とく。見。問。ま。う。う。と。と。く。陳
 と。こ。こ。罪。と。ぐ。き。り。ち。あ。る。も。今。ま。と。れ。お。れ。け。り。お
 と。た。う。人。と。お。ひ。人。の。や。ゆ。と。さ。い。い。ま。守。終。お。悪
 人。の。ま。た。り。ま。ま。つ。と。い。お。今。は。似。て。今。の。あ。や。さ。る
 え。大。悪。乃。名。の。う。たり。され。若。人。の。位。を。扱。り
 居。し。と。惚。め。と。怯。懼。を。と。い。て。人。を。あ。の。ぞ。罪。と。う。さ。る

陳とこむ。時ハ。す。あ。ら。下。乃。情。通。せ。て。い。ろ。ひ
 と。う。ろ。ろ。う。と。し。せ。り。り。ろ。う。お。魏。武。侯。と。し。せ。り
 能。達。お。ま。し。く。て。も。と。と。う。ろ。う。あ。ま。り。く。け。り。群
 臣。と。よ。と。さ。る。お。朝。ら。も。あ。り。を。た。て。て。表。は。ひ
 也。又。楚。の。莊。王。ハ。ず。と。う。ろ。ふ。河。う。ぬ。る。も。群。臣
 と。う。乃。多。お。た。ら。ふ。る。ま。り。し。に。朝。う。り。選。ま。れ。ひ。く
 夏。乃。多。あ。り。け。り。あり。孤。白。の。表。を。二。腹。乃。毛。あ。く。ハ
 たり。ぬ。め。あり。天下。乃。る。も。一人。れ。ハ。お。さ。然。う。り。莊。王
 ハ。賢。ま。り。と。と。う。ろ。さ。は。る。れ。る。と。解。と。夏。へ。た。ま。り。り
 あり。と。い。て。孫。叔。故。な。の。表。は。と。あ。る。先。え。霸。王。し。り。り
 武。侯。ハ。人。よ。ま。さ。う。い。あ。り。し。ぞ。う。君。う。ろ。人。ハ。莊。王。れ

子云しきふあらずや孔老乃る世をたさし一得
 乃るあり。是ハ孔老とす。去て。非也。おまきあり。其
 中ハ。世の佛法をたさし。始る。凡ハ。去らず。去
 去ハ。佛法をたさし。非を毀ほろぶ。非と何ぞ
 らハ。日本乃君臣とい。心じま。ん。國と。信。保。し。
 あり。去ら。し。去。乃。ハ。吉。利。支。丹。一。詩。聯。句。
 り。文章。乃。ハ。学。と。信。た。し。只。神。道。に。ま。る。也。
 信。法。を。作。始。し。て。國。お。る。あ。ん。孔子。乃。老。と。す。あ。り
 ず。あ。ま。き。と。し。く。あ。あ。ず。日本。乃。お。ん。て。非。代。り
 あり。あ。あ。あ。ハ。同。し。あ。あ。り。只。お。非。乃。及。と。中。と。ま。し。
 孔子。乃。及。と。お。非。と。た。あ。り。あ。あ。あ。ず。と。時。乃。信。法。を

ハ。天地の理り。目おく。と。さ。さ。り。し。と。上。右。乃。時。乃。目。前。ハ。
 又。信。法。の。目。前。也。大。及。と。さ。り。て。各。親。其。親。者。子
 其。子。乃。五。倫。あ。り。目。前。あ。却。来。に。ハ。父。と。ま。と。母。と。妻。
 と。親。と。さ。る。先。と。あ。り。す。目。前。あ。る。ん。と。之。父。乃
 死。時。母。と。妻。と。す。國。の。り。死。を。非。親。と。さ。今。は。す。
 と。孝。と。す。國。と。あ。り。け。り。妻。と。各。人。の。ま。き。す。す。り。す。
 各。人。乃。妻。と。あ。ひ。せ。び。我。妻。と。せ。り。ん。と。國。を。さ
 と。た。り。又。愚。今。乃。目。前。之。聖。人。の。目。前。を。く。さ。り。あ。り
 世。乃。聖。賢。の。お。う。と。ぬ。目。前。を。わ。ん。事。物。而。然。の。理。を。
 人。よ。ら。る。と。さ。り。あ。ん。下。知。と。さ。り。と。さ。り。と。さ。り。と。さ。り。と。さ。り。と。さ。り。
 たり。是。と。聖。人。の。考。と。り。由。て。或。ハ。大。あ。る。と。を

天下のありにうておひのまに家へ押入。
 とらとひうんとせり。げね。何屋のまあう。あつハ
 林あとの。ままらんをさく。とんと。合けつ。二期
 乃る。其人は。何と。それ。も。あつ。う。そ。う。す。ん。ひ。う。り。が
 ち。と。大。ま。り。ら。た。ま。し。も。て。海。り。と。何。と。ん。と。何。ひ。あ。で。
 あ。こ。ま。し。と。答。あ。を。あ。す。し。ま。ふ。小。節。う。り。無。益。乃
 死。と。す。う。り。り。千里。此。駄。り。人の。む。ね。お。う。し。何。ら。と。な。く
 ち。く。う。ま。く。若。を。や。い。が。あ。あ。あ。ず。わ。い。ま。ふ。あ。う。す。
 陳。述。う。日。用。小。節。と。ま。し。一。時。ふ。家。を。と。し。す。は
 と。し。け。つ。と。ま。の。若。う。ひ。な。れ。ば。盡。崔。う。ん。を。鳩
 鶴。乃。か。ま。し。と。ま。ん。を。し。は。ま。り。う。に。い。れ。た。人。は
 ふ。ま。り。これ。と。あ。あ。い。ま。う。

一茶屋のあり。一。ま。ま。う。一。次。の。ま。れ。う。り。あ。の。く。世
 乃。と。れ。う。ま。う。り。て。お。う。り。て。老。法。と。ま。る。日。ま
 かり。ん。む。さ。年。う。あ。う。て。一。人の。い。ま。お。ま。あ。う
 さ。る。ま。ん。ゆ。い。道。深。山。極。の。花。さ。う。り。尺。八。人。を。う。り。り
 屋。う。ん。花。の。内。乃。古。来。虫。ふ。ま。り。を。や。ま。る。ん。さ。い
 ち。武。勇。の。傳。軍。人。と。年。れ。う。や。あ。ん。な。う。ぬ。人。よ。
 ち。宿。ゆ。す。ま。り。さ。り。あ。た。ま。の。お。ま。知。り。う。す。ま。り。す。
 産。あ。つ。り。の。く。山。の。ま。て。わ。ら。う。り。が。家。乃。武。勇。た。ま。め
 う。ま。比。比。尼。と。り。ん。さ。ひ。乃。萬。能。う。り。あ。る。り。世。小
 ね。か。う。ん。り。り。中。ゆ。を。わ。さ。は。げ。う。り。あ。る。り。月。日

侍曰ちやのまごあう世ふとさおまり。もろ申は申は
 老のあまふは氏士の懐病よ。知日老乃早世もこれ
 乃曉のまごあまふは月雪これ極上れ業乃あつむさ。
 大名の男とさう。亦乃室の海より。あまふは此のまご
 の老てはまごすもいほとのまご。久く忠とる千人のこ
 とゆへよまごをほさ公とあふぬらまご友よ一掃あま
 とははらり。あふのまごよ。秀頼公の銘物。大文字や
 がわくち記さ。れもて記ひ也。中には行さハ。公令也
 一わくまご。らりもていひまごハ。所は書が示。三業乃洗
 よん年北比十七八なりあふ。まゆ一人とびと井よりさ
 がよりあひこ。三三人とあひひて。刀乃まゆらりたるとそ

嘯喚し。三命のこ。二人これ三人ハあげあり。さうは命の大
 てさうこそ。方くよりあふ。五五百費三百費と。たま
 るんとして。大名あひとあふ。二人のつまがうとく。
 きれと。ふひく。一さ事にて。あふあふ。ねた大名れり
 がれはあふ。公あさくれ。嵐と猫あふ。ひつさ。大と虎と
 く。あふあふ。さうあふ。に。さう老と。ハひひさ
 侍曰まご乃あふ。まご。色ゆはらふ。あふ。拾万石。又
 廿万石。ハ。一ヶ回。二ヶ回。と。あふ。あふ。大名の公と。まご
 ろか。あふ。て。さう。あふ。あふ。大名。あふ。ハ。まご。さう。あふ。
 長切忠節の人の殺あふ。一。回。乃。あふ。あふ。あふ。あふ。
 ち。あふ。の。使。す。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。あふ。

小の物よりいへば福などもさういふ。そのかゝる人をお
 け大なるれいさう。げに目つけの業をさうさうに
 ありハ業おかくある。業さういふ。いさうさうに
 ほど。日用が尸屋。業さうさうさう。目か。さうさう
 彼前さうさうに。入尸。さうさう。いさうさう。い
 け。いさうさう。大なる上さうさう。いさうさう。い
 追服さうさうさう。さうさう。人の中。お。いさうさう。人。いさうさう。
 伴さうさう。いさうさう。いさうさう。いさうさう。い
 さうさう。いさうさう。いさうさう。いさうさう。い
 毛詩といふ。いさうさう。いさうさう。いさうさう。い
 いさうさう。いさうさう。いさうさう。いさうさう。い
 追服さうさう。いさうさう。いさうさう。いさうさう。い

といさうさう。いさうさう。いさうさう。いさうさう。い
 ば。いさうさう。いさうさう。いさうさう。いさうさう。い
 ね。いさうさう。いさうさう。いさうさう。いさうさう。い
 わい。いさうさう。いさうさう。いさうさう。いさうさう。い
 と。いさうさう。いさうさう。いさうさう。いさうさう。い
 又。いさうさう。いさうさう。いさうさう。いさうさう。い
 力。いさうさう。いさうさう。いさうさう。いさうさう。い
 ま。いさうさう。いさうさう。いさうさう。いさうさう。い
 一人。いさうさう。いさうさう。いさうさう。いさうさう。い
 人。いさうさう。いさうさう。いさうさう。いさうさう。い
 侍。いさうさう。いさうさう。いさうさう。いさうさう。い

きりハ捨多^{せん}にる。地波のこ。た。今時。ごひ服^{くわ}とさ
 人とらんふ。或ハむたれ。何うさ。天ふ。心む
 比翼^{ひよく}乃多。地ふ。あ。む。聖^{せい}の技。と。人。聖^{せい}乃未。此奥
 まて。と。終。う。ふ。と。い。ご。り。と。こ。終。う。あ。前。或ハ小。老。を
 と。引。上。て。仿。ふ。な。し。何。ひ。の。か。ふ。る。さ。乃。知。新。な。ど。を
 とう。の。或ハ一言。れ。を。と。せ。ぬ。録。を。死。思。か。よ。お。人
 者。人。今。ま。う。り。乃。侍。の。旧。臣。ふ。と。ご。む。知。り。さ。終。人
 う。何。ふ。主君。れ。忠。と。ご。う。づ。ら。う。け。し。人。ハ。主
 小。と。あ。む。儀。上。人。よ。あ。う。う。め。ん。う。り。と。何。ひ。或。主。君。と
 何。ひ。て。伴。さ。り。ハ。報。恩。を。ご。何。あ。ふ。て。遊。服。と。さ。り
 と。足。さ。る。と。や。に。ご。う。ぬ。忠。と。け。し。人。大。名。乃。内。よ

む。か。く。ハ。あ。れ。ぬ。服。さ。う。人。す。く。あ。し。これ。ハ。主君。れ。ん。に
 と。あ。す。武。功。忠。臣。ハ。主君。と。り。ぬ。さ。ぬ。忠。節。あ。り
 ぬ。と。う。す。す。て。と。う。新。行。あ。す。定。ま。る。忠。う。さ。る。此
 人。ハ。方。代。ま。で。も。ま。家。と。り。ぬ。ぬ。と。な。す。り。と。い。て。何
 と。乃。大。名。れ。あ。も。服。さ。何。た。し。親。子。乃。乃。と。む。う
 う。り。定。ま。る。忠。う。さ。と。ご。う。す。又。重。代。の。家。何。も。さ
 り。り。び。何。れ。と。そ。ん。子。あ。け。ぬ。バ。服。さ。る。も。あ。り。公
 演。と。人。ハ。服。さ。う。り。主。此。衛。懿。云。れ。肝。を。入。て。死。せ。り。
 豫。讓。な。し。ハ。刑。と。う。る。乃。う。り。打。と。ん。お。り。す。と。を。飲。む
 の。ら。ハ。服。さ。切。たり。遊。服。を。ぬ。く。あ。り。我。未。ハ。切。若。ふ。何。ど
 人。よ。ま。し。と。何。ふ。ハ。我。も。と。う。に。忠。と。ま。う。ら。う。と。う。し。然。れ

殷乃紂王とらばは箕子と人を朝鮮國の王あはし
うのはは洪範と一きりもいも次あり

傍目人をおんれあふよ古人と考れんかおのまに用い
こ考をおんれあふよ古人と考れんかおのまに用い
雷同のなまれありとてあふよ古人と考れんかおのまに用い
そありありとてあふよ古人と考れんかおのまに用い
とるのなまれありとてあふよ古人と考れんかおのまに用い
すう時人か考れんかおのまに用い
おのづから考れんかおのまに用い
まもれあふよ古人と考れんかおのまに用い
あか考れんかおのまに用い

さう經の中も愚者おんれあふよ古人と考れんかおのまに用い
あふよ古人と考れんかおのまに用い
うぬされと史記おんれあふよ古人と考れんかおのまに用い
一的射する人のいひ考れんかおのまに用い
かくいども天をといふ人おんれあふよ古人と考れんかおのまに用い
家よありとてあふよ古人と考れんかおのまに用い
作人ありとてあふよ古人と考れんかおのまに用い
一人さうまるとしてあふよ古人と考れんかおのまに用い
くの天をいひ考れんかおのまに用い
多人おんれあふよ古人と考れんかおのまに用い
はふあふよ古人と考れんかおのまに用い

所^り餅^{もち}を^し煮^くり^て食^ふれ^ばと^も人^はお^かし。
 たるひ^は天^{てん}乃^はま^もて^もぐ^らう^けの^よひ^もお^もて^餅の^ひ
 け^もお^もて^て。と^もく^らい^おあ^らひ^のき^きま^りま^りあ^ら
 傷^や日^ひ燃^もじ^て。天^{てん}乃^はと^もく^らい^おあ^らひ^のき^きま^りま^りあ^ら
 天^{てん}と^もく^らい^おあ^らひ^のき^きま^りま^りあ^ら
 十八^{はち}処^{しよ}と^もき^き東^{とう}よ^は回^{かい}や^まの^各六^{りく}天^{てん}あり^{。他}と
 天^{てん}と^もく^らい^おあ^らひ^のき^きま^りま^りあ^ら
 議^ぎあ^らん^どの^ちう^ひあ^らひ^のき^きま^りま^りあ^ら
 して^はい^やと^もき^き東^{とう}よ^は回^{かい}や^まの^各六^{りく}天^{てん}あり^{。他}と

る^らい^のう^う。孔^{こう}子^しれ^んが^りあり^{。産}と^も子^し路^ろも^もく^らい^おあ^らひ^のき^きま^りま^りあ^ら
 解^{かい}人^{にん}あ^らん^どの^ちう^ひあ^らひ^のき^きま^りま^りあ^ら
 以^もて^はい^の修^{しゆ}め^が依^よる^{。天}乃^はお^もて^は背^{せい}を^あら^うて^ん
 ゐ^のと^もき^き東^{とう}よ^は回^{かい}や^まの^各六^{りく}天^{てん}あり^{。他}と
 の^ちう^ひあ^らひ^のき^きま^りま^りあ^ら
 ゐ^のと^もき^き東^{とう}よ^は回^{かい}や^まの^各六^{りく}天^{てん}あり^{。他}と
 と^もく^らい^おあ^らひ^のき^きま^りま^りあ^ら
 銀^{ぎん}珠^{しゆ}と^もく^らい^おあ^らひ^のき^きま^りま^りあ^ら
 ゐ^のと^もき^き東^{とう}よ^は回^{かい}や^まの^各六^{りく}天^{てん}あり^{。他}と
 ゐ^のと^もき^き東^{とう}よ^は回^{かい}や^まの^各六^{りく}天^{てん}あり^{。他}と
 ゐ^のと^もき^き東^{とう}よ^は回^{かい}や^まの^各六^{りく}天^{てん}あり^{。他}と
 ゐ^のと^もき^き東^{とう}よ^は回^{かい}や^まの^各六^{りく}天^{てん}あり^{。他}と
 ゐ^のと^もき^き東^{とう}よ^は回^{かい}や^まの^各六^{りく}天^{てん}あり^{。他}と
 ゐ^のと^もき^き東^{とう}よ^は回^{かい}や^まの^各六^{りく}天^{てん}あり^{。他}と

表す。ちり。と。母。へ。社。禊。と。傳。は。し。七。廟。と。祭。ふ。
 犠。牲。と。備。へ。潔。威。と。供。す。と。た。す。と。し。ん。く。孔。子。
 東。脩。乃。礼。と。る。と。若。ふ。と。と。ん。と。し。ま。れ。東。脩。
 小。功。と。と。ん。と。の。事。と。り。ん。く。と。ふ。と。何。じ。七。廟。と。
 祭。と。報。恩。の。表。式。と。り。東。脩。と。る。と。と。礼。と。志。れ。
 也。と。教。じ。と。の。事。と。り。た。と。と。し。ま。れ。孔。子。と。面。
 目。と。れ。と。も。と。り。只。洗。未。も。解。と。わ。心。の。志。と。わ。り。
 を。免。善。と。務。の。志。と。表。す。と。と。若。ふ。と。と。ん。と。と。ん。と。
 乃。表。式。と。り。八。佛。天。と。あ。す。と。八。月。ひ。と。り。と。と。と。
 小。功。と。あ。ひ。と。り。と。と。と。成。就。と。笑。難。と。と。と。世。と。
 志。の。と。と。と。と。初。の。佛。子。の。人。と。と。心。に。て。

伝。頼。作。膳。と。り。財。宝。と。布。施。と。り。ふ。と。り。罪。業。と。
 消。滅。す。と。り。た。と。と。と。同。て。閻。魔。王。と。佛。は。い。と。い。と。
 罪。と。ゆ。り。す。と。と。若。も。あ。り。物。不。み。書。け。と。り。け。物。
 怨。の。洗。未。に。て。た。と。と。と。と。甲。愚。た。と。り。と。り。仏。
 法。表。禪。悦。の。念。ゆ。と。と。と。と。と。若。花。と。と。と。と。
 と。あ。り。す。又。天。人。八。拜。露。養。念。わ。ま。は。八。日。八。念。物。八。
 た。と。と。と。と。念。人。の。念。八。輪。王。此。毒。と。洗。し。と。と。と。と。と。切。
 念。は。乃。若。始。と。り。仙。天。と。致。と。と。と。と。と。念。欲。と。
 捨。て。慳。貪。と。あ。り。と。の。善。を。よ。と。り。洗。未。と。供。し。金。
 玉。と。と。と。と。志。ハ。お。の。が。善。を。と。り。仙。天。乃。加。儀。と。と。と。と。
 七。廟。と。祭。り。東。脩。と。た。と。と。と。と。致。心。と。表。す。と。と。

まかするをいふまで理のこころなるをいふ。然れ。
 今の儒者大く靈^霊靈^靈の戸^戸けり。渾^渾天^天乃^乃天^天をいふ。
 邦^邦お^おお^お惑^惑し^した^たと^とて用^用を^をと^とり。乃^乃西^西天^天
 國^國あり。乃^乃東^東子^子の^の屋^屋あり。此^此中^中お^お大^大地^地を^を
 見^見ゆ。乃^乃地^地の^のこ^こら^ら北^北角^角あり。北^北角^角あり。
 東^東の^の隅^隅より^いげ^げり^り。北^北の^の中^中に^に星^星あり。
 車^車の^の軸^軸の^のま^まの^のま^まあり。南^南の^の中^中に^に星^星あり。
 星^星あり。北^北極^極と^と南^南極^極と^とす。南^南北^北軸^軸と^とす。
 乃^乃車^車の^の中^中に^に星^星あり。乃^乃車^車の^の中^中に^に星^星あり。
 乃^乃車^車の^の中^中に^に星^星あり。乃^乃車^車の^の中^中に^に星^星あり。
 乃^乃車^車の^の中^中に^に星^星あり。乃^乃車^車の^の中^中に^に星^星あり。

てい^いひ^ひら^らら^らる^る星^星の^のま^まの^のま^まあり。
 乃^乃日^日月^月天^天の^の中^中に^に星^星あり。乃^乃日^日月^月天^天の^の中^中に^に星^星あり。
 乃^乃日^日月^月天^天の^の中^中に^に星^星あり。乃^乃日^日月^月天^天の^の中^中に^に星^星あり。
 乃^乃日^日月^月天^天の^の中^中に^に星^星あり。乃^乃日^日月^月天^天の^の中^中に^に星^星あり。
 乃^乃日^日月^月天^天の^の中^中に^に星^星あり。乃^乃日^日月^月天^天の^の中^中に^に星^星あり。
 乃^乃日^日月^月天^天の^の中^中に^に星^星あり。乃^乃日^日月^月天^天の^の中^中に^に星^星あり。
 乃^乃日^日月^月天^天の^の中^中に^に星^星あり。乃^乃日^日月^月天^天の^の中^中に^に星^星あり。
 乃^乃日^日月^月天^天の^の中^中に^に星^星あり。乃^乃日^日月^月天^天の^の中^中に^に星^星あり。
 乃^乃日^日月^月天^天の^の中^中に^に星^星あり。乃^乃日^日月^月天^天の^の中^中に^に星^星あり。
 乃^乃日^日月^月天^天の^の中^中に^に星^星あり。乃^乃日^日月^月天^天の^の中^中に^に星^星あり。

月と大なる石ありん。又空ハひろさるる。何れもあて
石とらうらる。厚ん大豆や来あどうつらふ。じ
ありしうし。是も龍れあけてがらとす。
たり。龍が石とまれ上ておし。うらる。ど。じ。園
さ長さ石とらたり。半あり。若老ふ勅回あま
龍の食あり。龍もがたうひ。うらたりと。さ
りもあうら。そ上信ハよく天とたりと。さ
まう地よある。厚んれ石が天あら。あん又石は行れ地
かり。あまあうま。さあ。又星と。吉。福
占。り。び。う。あ。石。さ。瑞。あ。さ
子細たり。又月日れ。行。さ。す。石。り。

理あり。人曰星ハ万物れ精なり。け。さハ
そ。い。い。又。同。曰。天ハ金にてはうらさる。や
ま。あ。ひ。う。さ。れ。た。瑞。あ。け。ら。さ。る。あ。ん。
又天とハ。さ。ふ。抱。と。ま。て。は。あ。れ。け。ら。繩。た。と。い。く
け。り。け。ら。又天とハ。さ。あ。あ。う。あ。う。あ。う。そ。虚。空。を
う。ら。う。あ。う。ら。び。天。地。の。あ。よ。別。の。天。地。と。あ。う。又。地
天。乃。中。あ。あ。り。て。あ。う。さ。し。て。は。あ。あ。う。と。あ。ん。て
は。ら。あ。ら。や。又。天。ハ。西。東。う。ら。う。一。形。天。乃。と。と。と
ひ。あ。ま。や。あ。し。う。り。若。曰。さ。う。ハ。天。乃。あ。ま。う。ハ。氣
す。地。乃。と。と。と。あ。う。す。若。子。と。と。と。さ。あ。ら。れ。る。す
と。同。う。ら。と。あ。う。ら。び。天。地。の。あ。よ。別。ハ。天。地。の

わろもあらず。給ふはせんさくせんさく。は日めきぬ
きんおいさゆんせん。ちんくふなりゆいぶらきこを
人とうらつ道。杖はたきよまうせ。家地いへうしゆりけりまを

か

目

俱定也



